

議会運営委員会 会議録

=====
日 時 平成30年9月4日（火曜日）
午前9時15分開会，午前9時19分閉会
場 所 第3委員会室

- 日 程
- 1 開 会
 - 2 委員長挨拶
 - 3 議長挨拶
 - 4 協議事項
(1) 新たに提出された請願・陳情について
(2) その他
 - 5 閉 会
-

出席委員（7名）

委員長	内田	卓男
副委員長	小坂	博
委 員	寺内	充
委 員	吉田	博史
委 員	篠塚	昌毅
委 員	平石	勝司
委 員	島岡	宏明

欠席委員（なし）

その他出席した者

議 長	海老原	一郎
副議長	福田	一夫

説明のため出席した者（なし）

事務局職員出席者

局 長	塚本	哲生
次 長	川上	勇二
係 長	宮崎	清司
主 査	村瀬	潤一
主 査	寺嶋	克己

傍聴者（1名）

竹内 裕 議員

○内田委員長 おはようございます。ただ今から議会運営委員会を開会いたします。傍聴は、特に、議員さん以外はありませんね。

(「はい」の声あり)

○内田委員長 それでは、はじめに議長から。

○海老原議長 皆さん、おはようございます。今日は、新たに提出された請願でございますので、よろしく申し上げます。以上です。

○内田委員長 それでは、早速、協議に入ります。提出された請願・陳情についてだけですか。

○川上事務局次長 はい。

○内田委員長 はい。協議をお願いいたします。事務局から申し上げます。

○川上事務局次長 新たに新規で陳情が1つ提出されましたので、ご審議をお願いいたします。受理番号4、臓器移植の環境整備を求める意見書の採択を求める陳情書でございます。提出者は、千葉県我孫子市、移植ツーリズムを考える会、高峰一氏、8月31日に事務局の窓口におきまして、本人から提出があったものでございます。それでは朗読をさせていただきます。陳情理由、臓器移植の普及によって薬剤や機械では困難であった臓器の機能回復が可能となり、多くの患者の命が救われている。一方、臓器移植ネットワークが構築されていない外国における移植は臓器売買等の懸念を生じさせ、人権上ゆゆしき問題となっている。そこで国際移植学会は、平成20年5月に各国は、自国民の移植ニーズに足る臓器を自国のドナーによって確保する努力をすべきだとする主旨の臓器取引と移植ツーリズムに関するイスタンブール宣言を行った。こうした動きが我が国における平成22年7月の臓器の移植に関する法律の改正につながり、本人の意思が不明な場合であっても家族の承諾により臓器を提供することが可能となった。同法の改正以後、脳死下での臓器提供者は年々増加しており、平成29年の臓器提供者数は77人となっている。しかし、平成30年5月31日時点における臓器移植希望者数が、心臓で684人、肺で325人、肝臓で313人、腎臓で1万1,931人、膵臓で206人となっているなど、心停止後のものを含めても臓器提供数が必要数を大きく下回っており、その理由としてドナーや臓器提供施設数が少ないことが指摘されている。陳情事項、よって、臓器移植を国民にとって安全で身近なものとして定着させるため、早急な対策が必要である。貴議会から国へ、臓器移植の環境整備を求める意見書を提出して下さい。会議規則にありますように、陳情でございますので、この陳情を請願書と同等の取り扱いとし、本会議に上程するののか。また、上程するのであれば、どの委員会に付託をするののかを、ご審議をお願いいたします。以上です。

○内田委員長 皆様、どうですか、次のページの意見書案については、朗読してもらわなくていいですか。

(「いいよね」の声あり)

○内田委員長 それでは、ご意見をお願いいたします。

(発言者なし)

○内田委員長 どちらの、まあ、要は、どこへ付託するかということですので……。

○寺内委員 文教厚生委員会で審議していただければありがたいんじゃないですか。

○内田委員長 文教厚生委員会ということでございますが、よろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

○内田委員長 はい。ご意見もないようです。それでは、受理番号4，文教厚生委員会へ付託することに決しました。以上をもちまして、議会運営委員会を閉会いたします。